

愛産研 ニュース

愛産研ニュース
平成 15 年 10 月 3 日発行
No.19

編集・発行
愛知県産業技術研究所 企画連携部
〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割
TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033
URL <http://www.aichi-inst.jp/>
E-mail info@aichi-inst.jp

10 月号
2003

- 今月の内容
- 三河産地における産業用繊維資材の現状と課題
 - 繊維ロープの劣化特性とリユース
 - 生分解性樹脂エマルジョン

三河産地における産業用繊維資材の現状と課題

産業用繊維資材とは、産業向けの繊維及び繊維製品であって、産業全般の生産過程において、生産資材または製品の原料として消費されるものを示しています。これらは、衣料品がどちらかと言えば、消費者が対象で、色柄などの感性に訴える要因に重きが置かれているのに比べて、性能、特に価値（＝機能／コスト）が強く求められるところに特徴があります。また、規格、性能が法律あるいは自主規格で規定されている点や、使用される産業界全体の好不況に強く影響されるところも特徴です。日本化学繊維協会によれば、用途別繊維消費量の構成比（1999 年調査結果）は、衣料用（23％）、家庭・インテリア（27％）、産業用（50％）となっており、前 2 者が中国等海外生産へのウェイトを今後も高めることが予想されることから、産業用は当面国内に残された唯一の分野と言えます。

蒲郡を中心とする三河産地は、網・網製造業の一大集積地として、また、織物業の主要産地として従来より全国に知られてきました。現在、産業用繊維資材としては、農業用各種ネット 海洋・水産用ロープ、ネット 土木・建築用養生シート、安全ネット、壁布 運輸用内装材、シートベルト、フレキシブルコンテナ 一般工業用フィルター、テープ基布 スポーツ用各種ネット、遊具用ロープ、サポーター基布 衛生・医療用シートなど幅広い多くの製品を生産しています。形態としては、織布状、フェルト状、網状、ロープ状、テープ状など多種類あり、繊維状で柔軟性を有する特性を活かして使われています。

しかし、現在、中国等の追い上げ、国内外需要の低迷で厳しい状況にあります。このような状況を乗り切るのを支援するため、三河繊維技術センターは、産業用繊維資材の研究開発に取り組んでいます。具体的には、地球環境に優しい素材（生分解性樹脂）への転換、環境浄化資材の用途開発、安全性・信頼性確保のための長期にわたる耐候性の評価試験の実施、高強度繊維の染色技術、不織布状活性炭の開発、データベースの構築等を行って来しました。

産業用繊維資材は、他の製造業の海外移転に伴い、今後、現地調達が進むことが予想されますが、信頼性の問題から、開発から普及まで長時間かかることにも特徴があります。このため、愛知県の世界的な産業集積を背景に、産地に蓄積された固有技術を駆使し、新素材の導入、製造技術の開発等により、価値（＝機能／コスト）の大きな製品開発に取り組むことにより、世界的にこの分野をリードする地域に発展することが期待されます。

